

名鉄病院を受診された患者さんへ

臨床研究協力をお願い

名鉄病院では、過去に当院で診療を受けられた患者さんの記録を使用し、以下の臨床研究を実施しております。データの使用にあたっては、厚生労働省が定めた「臨床研究に関する倫理指針」「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、患者さんから直接同意をいただく代わりに、このお知らせをもって研究内容を公開いたします。

本研究の趣旨や方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、ご自身のデータ使用を希望されない場合や、ご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。お断りいただいた場合でも、今後の診療において不利益を受けることは一切ありません。

【研究課題名】

パニツムマブによる低マグネシウム血症に関する実態調査

【対象期間】

2021年1月1日～2025年12月31日

【研究期間】

倫理審査委員会承認日～2026年12月31日

【研究対象者】

大腸がん治療薬「パニツムマブ」の投与を受けられた患者さん

【研究責任者】

藤本 真規子（薬剤部）

【研究目的】

大腸がん治療薬「パニツムマブ」の副作用であるマグネシウム不足に対する点滴治療は、効果が一時的で次の診察時には再び値が下がってしまうことが少なくありません。マグネシウム不足の放置は不整脈などの危険を伴うため点滴は欠かせませんが、患者さんの病院での滞在時間を長くし、体力的なご負担にもつながってしまいます。そこで、当院における過去5年間のカルテ記録を振り返り、マグネシウム値の変化や点滴の効果などを詳しく調べて、患者さんのご負担を減らし、より安全な治療のあり方を考えるために役立てたいと考えております。

【研究方法】

過去の電子カルテ記録を集計・解析する「後ろ向き観察研究」です。そのため、新たな採血や検査、追加の通院をお願いすることは一切ありません。具体的には以下の情報を抽出し、どなたのものか分からないよう匿名化した上で解析を行います。

- 患者背景：年齢、性別
- 治療内容：併用レジメン（お薬の組み合わせ）、パニツムマブ投与コース数
- 臨床検査値：投与前および各コースの血清マグネシウム値の推移、腎機能等
- 併用薬：プロトンポンプ阻害薬、利尿剤、酸化マグネシウム製剤等
- マグネシウム補正の実態：補正介入の有無、硫酸マグネシウム注射の投与量および頻度
- 有害事象：低マグネシウム血症の重症度別発現頻度、心電図異常・不整脈の発現状況

【個人情報の取り扱い】

収集したデータは、お名前やカルテ番号などを削除し、どなたのものか全く分からない状態にしてから取り扱います。患者さんのプライバシーは厳重に保護され、個人が特定されることは決してありません。

【問い合わせ先】

電話：052-551-6121(代表) 内線にて薬剤部へ
担当者：藤本 真規子

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。